

# ドイツ NOW 12月号

国際交流委員会 1年5組 中嶋 優良 1年8組 井上 日南子

## 【ドイツ・フライブルグ発！ コロナ禍の日常生活について】



フライブルグはドイツの南西部、フランス、スイスの国境まで車で約30分という場所に位置する都市です。

世界のエコタウン・・・世界に先駆けた都市デザインと再生可能エネルギー政策を備えた環境都市です。

今回はフライブルグに25年在住でヴァイオリン講師のBottin Mikakoさんとギムナジウム10年生(日本の高1)15歳のJosei君に現在の日常生活についてお話を伺いました。

## 【ドイツの3G規制】

- \* ワクチン接種者 (geimpfte)
- \* 感染回復者 (genasene)
- \* 陰性証明書 (getestete)

ドイツでは三つの単語の頭文字 G を取って 3G (ドライ ゲー) というルールがあります。

劇場や美容院、レストランやカフェの室内席への出入りはワクチン接種済みか、感染から無事回復した人、検査で陰性証明を得た人に限られ、テラス席は制約なしというルールになっています。

しかし現在の第四波を受けて、2G ルール、2G プラスルールという制限措置に強化されました。2G とはワクチン接種者と回復者のみ諸施設の利用立ち入り許可、2G プラスは接種者、回復者らにも検査の陰性証明が必要となりました。これは実質上、ワクチン未接種者への厳しい措置となります。ドイツのワクチン接種率は 68.4% (11 月 26 日現在) と思いのほか伸び悩んでいます。接種は義務化されていないため、これを受けての 2G ルール及び 2G プラスへの強化ともいえるようです。



## 【学校でのマスク生活】

学校が 2020 年 12 月コロナで閉鎖になりました。その3ヶ月後学校再開して以来、校内では一律マスク着用義務がありました。

ドイツでは休暇がたくさんあり、休暇後は教室内ではマスク義務、2~3週間後から教室内はマスクなしでも OK、ただし廊下や階段ではつけるという事になりました。高校では校庭が狭いこともあり、休憩時間もクラスごとに過ごせる校庭が指定されていました。

学校内にあるメンザ (学生食堂) は、2020年3月以降、完全予約制になっているそうです。

保護者会は、2019 年以來はオンラインでしたが、現在は 15 分ごとにどのクラスの保護者がどの入り口を通して中に入って良いか、前もって連絡があったそうです。

何事も徹底して合理的なドイツ人、さすがですね！



## 【観光再開 ドイツ版 GO TO TRAVEL?】

キャンペーンの正式名「Deutschland Abo-Upgrade」は、訳すなら「ドイツ・定期券アップグレード」でしょうか。

内容は、通学・通勤用の定期乗車券が2週間のキャンペーン期間 (9月13日から26日まで)、「アップグレード」されて、通常の有効範囲地域を超えてドイツ全土で利用できるということキャンペーンです。驚くことに追加料金は不要。オンラインによる事前登録のみで利用可能でした。

ただし、乗り放題になるのは ICE と IC という新幹線を除く列車 (各停や地域快速など) とバス、地下鉄などの公共交通 (一部例外有り) です。日本の「青春18きっぷ」に近いものです。

この乗り放題キャンペーンは、ドイツの国と州、各地域の交通公社によるイニシアティブ団体「#BESSERWEITER」(「より良く、前に」という意味) によるもので、国が主導した乗り放題企画といったいいものだと思います。

ちなみに独誌『シュピーゲル』の記事によると、70万人を超える人がキャンペーンを利用したそうです。



## 【最後に】

ドイツが知恵と工夫でコロナを乗り越えようとする姿勢を私は感じ取りました。国のリーダーシップが力強いと思います。制約の多い日常の中に、少しずつのハッピーを添えて進んでいきましょう。

取材にご協力くださった Mikako さん、Josei 君、ありがとうございました。